

学力向上のために、学校でこんな取組を

今後も継続・充実させたい4つの取組

～岐阜県の学校では、全国と比較して、以下の取組が充実しています！～

《取組1》

全校体制による学習姿勢、教科の学び方の徹底

今回の調査において、学習規律の維持が徹底されている学校の割合は100%でした。また、生徒は私語なく落ち着いており、熱意をもって勉強していると回答した先生の割合は小・中学校ともに90%を超えました。

→これらの結果を踏まえ、今後も、児童生徒の発達の段階に応じた、基本的な学習姿勢と各教科の学び方（学習の進め方や思考の仕方など）についての共通理解と、研究推進員会等を中心とした、全校体制での取り組みを大切にしましょう。

《取組2》

児童生徒が主体となる授業の具現

大変多くの学校において、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業が進められたり、様々な考えを引き出したり思考を深めたりする発問や指導が行われています（小・中学校ともに95%以上）。

→これらの結果を踏まえ、今後も、児童生徒の発言や活動、実験等の時間を確保した上で、発問、板書、教材、聞き方・話し方の指導などにより、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりしましょう。また、自分の考えを文章に書かせる時間を確保したり、分かりやすい文章の書き方を指導したりすることで、児童生徒が自分の考えを整理したり確かめたりできるようにしましょう。

《取組3》

規範意識・自尊意識を育む指導の充実

大変多くの児童生徒が、学校のきまりや友達との約束を守っています（小・中学校ともに90%以上）。また、人の気持ちが分かったり人の役に立ったりする人間になりたいと思っている児童生徒も大変多くいます（小・中学校ともに90%以上）。

→これらの結果を踏まえ、今後も、児童生徒が規範の意義を理解し、自らが規範を守り行動するという自律性を育みましょう。また、「自分も認められた」という自己存在感を与えたり、「この仲間は気持ちを分かってくれる」という共感的な人間関係を醸成したりすることで自尊意識を育てましょう。教員自身が高い人権感覚を身に付けるよう自己研鑽に努めましょう。

《取組4》

家庭と力を合わせた生活習慣の指導の継続

大変多くの児童生徒が、朝食を毎日食べたり、毎日同じぐらいの時刻に起きたりしています（小・中学校ともに90%以上）。

→これらの結果を踏まえ、今後も、毎日決まった時間に起床・就寝したりする児童生徒の割合が高い水準で推移するよう、保護者としっかり協力し合い、基本的な生活習慣の定着を目指した指導を継続させましょう。

今後、一層の改善を図りたい3つの取組

一人一人の学習状況を把握し指導を改善すれば、学力は向上します。

☆国や県の調査で学習状況を把握しましょう。

- ・国や県の結果分析を自校の結果分析に生かしましょう。また、国の学習状況調査を実施していない学校においては、自校の児童生徒に解かせてみるとともに、先生方も実際に解いてみましょう。

☆毎日の授業で学習状況を把握しましょう。

- ・「診断テスト」や「学習状況カルテ」等を活用するなどして、児童生徒の学習状況を把握しましょう。
- ・単位時間の授業の終末で、児童生徒が本時学習したことが分かったか、できるようになったかを確認する学習活動を位置付けるなどして、学習状況の把握に努めましょう。

☆把握した学習状況を踏まえ、指導を改善しましょう。

- ・改善策（取組内容や取組方法）を決定する際は、国や県などが作成している改善資料も活用しましょう。また、具体的な指導資料が岐阜県総合教育センターのHP（URLは以下）に掲載されています。これらも参考にして自校の指導改善を図りましょう。（<http://www.gifu-net.ed.jp/gec/kyoiku.html#4>）

＜参考＞今後実施される国や県の調査等をP D C A サイクルに位置付け指導改善に生かしましょう。

平成24年8月～10月：今回の調査結果の分析→改善策の決定と実行

平成25年1月～2月：県の学習状況調査→結果を踏まえた改善状況の把握→新たな改善策の決定と実行

平成25年4月：国の学力・学習状況調査→結果を踏まえた改善状況の把握→新たな改善策の決定と実行

↓（自校で実施するテスト等を適宜位置づけ、P D C A サイクルを推進する。）

個に応じた補充的な学習の充実を図れば、学力は向上します。

☆一人一人に基礎的・基本的な知識・技能等が確実に身に付くよう指導・援助を工夫しましょう。

- ・一人一人の学習状況に応じるために教材や学習形態を工夫しましょう。また、本時のねらいが達成できるように、授業の終末を工夫しましょう。例えば、本時で学習した内容の習熟を図るために定着問題に取り組む時間を確保し、必要に応じて繰り返し練習する時間を改めて設けるなどの取組が考えられます。

☆単元や学期など長いスパンを視野に入れた繰り返し指導や補充的な学習を実施しましょう。

- ・学期末に復習する時間を確保するなど、長いスパンを視野に入れた繰り返し指導や補充的な学習を実施するために、県教育委員会が作成した「小学校算数科学期末復習問題」や「補充問題」等を活用しましょう。

☆少人数指導を実施する場合は、弾力的できめ細かな実施に努めましょう。

- ・児童生徒の学習意欲を喚起することに配慮しつつ、習熟の程度等によって意図的に少数の児童生徒を対象に指導したりT Tを行ったりするなど柔軟に集団を編成し、学習状況に応じるための教材・教具を工夫してきめ細かな指導を行いましょう。

家庭学習（特に予習と復習）を計画的に行う学習習慣を育成すれば、学力は向上します。

☆全校体制での指導を大切にしましょう。

- ・学年に応じた家庭学習の習慣を身に付けられるように、全校体制での指導を大切にしましょう。

☆予習や復習に取り組んでよかったと児童生徒が思える授業を行いましょう。

- ・家庭学習の内容を授業で活用することにより、児童生徒が成就感を味わったり、家庭学習に対する更なる意欲化を図ったりしましょう。

☆一人一人に応じた家庭学習の指導をきめ細かく行いましょう。

- ・各教科の特性に応じた家庭学習の仕方を具体的に指導し、見届け、励まし、よい取組の価値付けとそれによる方向付けなどの指導を継続的に行うなどして、家庭学習を行う習慣を定着させましょう。その際、基礎的・基本的な知識・技能の定着が不十分な児童生徒については、適切な内容と量の個別課題を与える等のきめ細かな指導を行いましょう。また、「家庭学習の手引き」などの作成により、家庭と協力して学習習慣の定着を図るようにしましょう。